

せせらぎ通信

2016. 8. 29発行

オーストラリア語学研修より

7月28日～8月6日まで姉妹校であるレーベンズホー高校との交流も含め、語学研修に行ってきました。充実した旅行になったようで、みんな最後は「帰りたくない」と口にしていました。今回は、生徒リーダーでもあった3年生の椿君に感想をまとめてもらいました。



オーストラリアに行く前は、英語が全然喋れないことや、食事のこと、3年生は自分1人、人見知り、リーダーであること…とても心配だらけでした。しかし、実際行ってみると、全然喋れなくても、ジェスチャーや単語で気持ちで伝えればなんとなく伝わるが多かったし、ホームステイのご飯も最高でした。また、一緒に行ったメンバーとは学年関係なく笑いあったり、交流したりして一段と団結力が深まりました。



ホームステイ先にはカイラというレーベンズホー高校の可愛い女の子がいました。カイラの家では、お母さん、お父さん、お兄さんともコミュニケーションが取れました。また、お兄ちゃんの友達とも、たくさんコミュニケーションを取り、少しでもリスニング力を高められるように頑張りました。まず単語がわからないと文章が理解できないことがわかり、単語力が大事だなと感じました。学校では、小学生に折り紙を教えました。小学生の言っていることが全くわからなくて大変でした。学校のみなんとサッカーをしたり、クリケットをしたり、滝や湖、ダムにも行き、自然と触れ合ったりしました。とてもアクティブに過ごし、いろんな交流ができて、最高でした。そして、きっとレーベンズホー高校の人は学校で昼寝しないなと思いました。



他にも、グレートバリアリーフで海に入ったり、アボリジニ文化センターでアボリジニのメイクをしたり、動物園でカンガルーやコアラを見たり、ケアンズの街を観光したりしました。あっという間に時間が過ぎました。ホームステイは本当に楽しかったし、仲良くなったみんなともう会えないなど、考えていたら泣いてしまいました。もう1回ホームステイしたいです。今回のオーストラリア語学研修は自分の将来に向けていい経験になりました。

3年 椿 慧斗

磯子職員コラムリレー 第4回 小玉先生(情報科)

「やっちまった・・・」

去年の春、念願のロードバイクを買った時のことです。購入してから1週間、スピード感や動きにも慣れて自転車に乗るのが楽しくてしょうがない！そんな状態でした。

その日もいつものように自転車に乗り、ちょっと遠出をし、家に着く直前の大きな交差点で車道の溝に細いタイヤが取られて盛大にころびました。速度が30kmぐらい出ているので足とペダルが固定されているのでこけ方もとにかく派手。横断歩道で信号待ちをしていた近所の人、ご年配の方、若いカップル、小学生、みなさんに「大丈夫ですかー!？」と声をかけられました。恥ずかしさのあまり「ピンピンしています！」と涙目で答え、足を引きずりつつ、もう一度自転車に乗り、逃げるように走り去ろうとしたら慌ててもう一度転んでしまいました。もう、恥ずかしいし、派手に出血して痛いし、新品の自転車に傷がつくし・・・。今も自転車には勲章のごとく傷がついています。何事も慣れた頃が危ないなあと身をもって実感しました。みなさんも、気を付けてください。さて、今回は渡瀬先生にバトンを回します。テーマは「隠された、私の正体」です。お楽しみに！

